

**袋井市営駐車場・自転車等駐車場
指 定 管 理 業 務 仕 様 書
(案)**

**令和 7 年 3 月
袋 井 市**

目 次

1	業務の目的	1
2	本書の位置づけ	1
3	業務に関する基本的事項	1
4	施設の概要	2
5	指定管理者が行う業務の範囲	4
6	指定管理者が賠償責任を負う範囲	10
7	物品の帰属等	11
8	備品等	11
9	業務を実施するに当たっての注意事項	11
10	モニタリング及び利用者アンケート	11
11	その他	11

1 業務の目的

本業務は、袋井市営駐車場、自転車等駐車場（以下「駐車場等」という。）は駅周辺における自動車及び自転車等の駐車を容易にして、安全かつ平等な利用を確保するとともに、管理経費の縮減を図りながら、利用者のサービス向上・利用促進と円滑な運営並びに施設及び設備の適切な維持管理を目的とする。

2 本書の位置づけ

本書は、袋井市（以下「市」という。）が駐車場等の管理運営を行う指定管理者を指定するに当たり、指定管理者が管理運営業務を行う際の市が要求する水準を示したものである。

3 業務に関する基本的事項

（１）利用について

指定管理者は、管理運営にあたり利用者の平等利用の確保に努め、利用者に対して不当な差別的取扱いをしてはならない。

（２）利用者への対応について

指定管理者は、利用者本位の施設運営を行い、親切丁寧な対応を心がけ、常にサービスの向上に努めること。

（３）施設の管理について

ア 駐車場等の管理を遂行するに当たり、次の事項を遵守すること。

（ア）設置の趣旨に即した管理を行い、その実現に向けて最大限努力すること。

（イ）常に利用者の立場に立った運営を行い、利用者の意見や要望を反映させること。

（ウ）効率的な運営を行うとともに、環境に配慮した施設の保全に努め、管理運営費の縮減に努めること。

（エ）市の意図するところに従い、常に善良な管理者の注意をもって管理に努めること。

（オ）指定管理者が施設の管理運営に係る各種規程・要綱等を作成する場合は、市と協議すること。

イ 個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、袋井市個人情報の保護に関する法律施行条例（令和４年袋井市条例第22号）の趣旨を理解し、業務上知り得た個人情報については適正な取扱いをすること。

ウ 施設の管理を行うに当たり、業務上知り得た内容を第三者に漏らしたり、自己の利益のために使用したりすることはできない。指定管理者の期間が終了した後も同様とする。

エ 環境への負荷の低減に努めること。

（４）指定管理者が管理運営を行う経費について

指定管理者が駐車場等の管理運営を行うために要する経費は、指定管理委託料及びその他の収入をもって充てる。

（５）管理体制について

ア 駐車場等の安全で効果的・効率的な管理運営を実施するため、必要な職員を配置

すること。

(ア) 総括責任者と従事者、連絡先等を記載した組織図を作成するとともに、緊急時や災害時に適切な対応がとれるようマニュアルを作成し、毎年度速やかに市へ提出すること。

(イ) 職員の勤務体制は、施設の管理運営に支障がないよう配慮すること。

イ 利用者の要望、意見は速やかに市に報告するとともに、費用負担等を市と協議し迅速な対応をとること。

4 施設の概要

(1) 駐車機器等

ア 自動車駐車場

施設の名称	袋井駅前駐車場
施設の所在地	袋井市高尾1129番地の2
施設の概要	施設の内容 2階建平面自走式（無人） 供用開始日 平成6年10月1日（令和2年4月1日縮小再開） 駐車台数 32台（うち軽自動車専用5台） 敷地面積 1,323㎡ 供用時間 24時間 駐車機器 別紙仕様書のとおり

施設の名称	愛野駅前北駐車場
施設の所在地	袋井市愛野東二丁目8番地の1
施設の概要	施設の内容 平面自走式（無人） 供用開始日 平成13年9月1日 駐車台数 67台 敷地面積 2,012㎡ 供用時間 24時間 駐車機器 別紙仕様書のとおり

イ 自転車等駐車場

施設の名称	袋井駅東自転車等駐車場（当日・定期）
施設の所在地	袋井市高尾1129番地の2
施設の概要	施設の内容 平面2段式（有人） 供用開始日 平成6年10月1日（令和2年4月1日縮小再開） 駐車台数 605台（自転車571台、原動機付自転車34台） 敷地面積 土地面積 1,323㎡ 延床面積 804.94㎡ 供用時間 24時間 駐車機器 別紙仕様書のとおり

施設の名称	袋井駅西自転車等駐車場（定期利用のみ）		
施設の所在地	袋井市高尾1209番地の6		
施設の概要	施設の内容	平面（無人）	
	供用開始日	平成6年10月1日	
	駐 車 台 数	74台（自転車54台、原動機付自転車20台）	
	敷 地 面 積	土地面積 230㎡	延床面積76㎡
	供 用 時 間	24時間	

施設の名称	袋井駅南自転車等駐車場		
施設の所在地	袋井市高尾1229番地の1		
施設の概要	施設の内容	平面（無人）	
	供用開始日	令和2年4月1日	
	駐 車 台 数	410台（自転車359台、原動機付自転車51台）	
	敷 地 面 積	土地面積 822㎡	延床面積 389㎡

施設の名称	愛野駅南自転車等駐車場		
施設の所在地	袋井市愛野南一丁目2番地の1		
施設の概要	施設の内容	平面（無人）	
	供用開始日	平成13年9月1日	
	駐 車 台 数	415台	
	敷 地 面 積	土地面積 1,026㎡	建物面積 267㎡

施設の名称	愛野駅北自転車等駐車場		
施設の所在地	袋井市愛野東二丁目8番地の1		
施設の概要	施設の内容	平面（無人）	
	供用開始日	平成13年9月1日	
	駐 車 台 数	434台	
	敷 地 面 積	土地面積 1,159㎡	建物面積 374㎡

ウ その他

施設の名称	管理人室		
施設の所在地	袋井市高尾1129番地の2		
施設の概要	施設の内容	平屋建て（有人）	
	面 積	延床面積 14.96㎡	

(2) 使用料

ア 自動車駐車場（一時利用）

名 称	区 分	金 額
袋井駅前駐車場	最初から15時間まで	1 時間までごとに100円
	15時間を超える場合において 最初から24時間まで	1,500円

愛野駅前北駐車場	最初から7時間まで	1 時間までごとに100円
	7時間を超える場合において 最初から24時間まで	700円

〔備考〕 駐車時間が24時間を超える場合は、24時間までごとに算定した額の合計

イ 自動車駐車場（定期利用）

愛野駅前北駐車場	1 ヶ月間（平日のみ）	3,300円
----------	-------------	--------

ウ 自動車駐車場（回数駐車券）

種 別	金 額	利用可能駐車場
回数駐車券	100円券(22枚つづり) 2,000円	全駐車場
	200円券(11枚つづり) 2,000円	

エ 自転車等駐車場（愛野駅南・愛野駅北自転車等駐車場は無料）

区 分	利用の方法	単 位	料 金
自転車	一時利用	1 日 / 1 回	100円
	定期利用	1 月	1,500円
		3 月	4,500円
原動機付自転車及び 自動二輪車	一時利用	1 日 / 1 回	150円
	定期利用	1 月	2,500円
		3 月	7,500円

〔備考〕 定期利用の単位は、月の初日から始まり、当該期間の末日をもって終了

5 指定管理者が行う業務の範囲

(1) 駐車場等の管理運営業務に関すること

ア 人員の配置等に関すること

(ア) 袋井駅前駐車場

- ① 駐車場の管理（消耗品の供給、売上金の回収・納入、場内清掃、不審車両のチェック、施設点検等）に従事する最適な人員を配置すること。
- ② 駐車場の設備監視（24時間体制）に従事し、障害対応等緊急時に出動し、対応できる最適な人員を配置すること。
- ③ 事前に把握している停電時等の場合、車両の入出庫及び使用料の徴収に対応

する最適な人員を配置すること。

(イ) 愛野駅前北駐車場

- ① 駐車場の管理（消耗品の供給、売上金の回収・納入、場内清掃、不審車両・定期期限切れ車両のチェック、施設点検等）に従事する最適な人員を配置すること。
- ② 愛野駅前北駐車場の設備監視（24時間体制）に従事し、障害対応等緊急時に出勤し、対応できる最適な人員を配置すること。
- ③ 事前に把握している停電時等の場合、車両の入出庫及び使用料の徴収に対応する最適な人員を配置すること。

(ウ) 袋井駅東自転車等駐車場・袋井駅西自転車等駐車場・袋井駅南自転車等駐車場

- ① 施設の利用に関する受付業務（使用料の収受、定期券の発行、問合せ等）
- ② 施設管理業務（消耗品の供給、自転車の整理、場内清掃、施設点検等）
- ③ 駐車場内の管理（売上金の回収・納入、場内清掃等）
- ④ 監視業務（駐車場内の盗難、防犯のための巡回監視）
- ⑤ 駅前周辺放置自転車指導及び撤去作業
- ⑥ 管理人室に管理人を1名以上常時配置すること。

（午前5時30分から午後9時まで）

(エ) 愛野駅南自転車等駐車場・愛野駅北自転車等駐車場

- ① 場内自転車等の整理、清掃作業に従事する最適な人員を配置すること。

<業務内容>

指定管理期間内は無休、1日最低1回の場内整理及び清掃等をするものとし、常に清潔に努めること。

（自転車等の整理、清掃、ゴミ処理、保管自転車等の管理、施設点検）

イ 管理人は、日常的な電気・機械・施設等の設備の操作・管理の能力がある者（資格の有無は問わない。臨時職員可）とすること。

ウ 施設を管理運営するうえで、利用者の窓口対応、利用に関する業務等の運営業務並びに施設・設備の維持管理に関する業務に当たらせるため、指定管理者がその責任において業務従事させることのできる職員（臨時職員可）は、健康で業務遂行の体力を有する者とすること。

エ 管理人には、防火管理者の資格を有する者を配置すること。

オ 業務従事者に対して、施設の管理運営に必要な研修を実施すること。（駐車券発売機の取扱い及び消耗品の供給、売上金の回収・納入、自転車の整理、場内清掃、救急・緊急対応、接遇等）

カ 本施設の職員であることが一目で区別できるよう、名札を着用すること。

キ 地域の人材の活用を図るとともに、市の高齢者雇用対策に鑑み、市内の高齢者雇用に配慮すること。

ク 周辺施設でのイベント開催等による駐車場等利用者の管理（自動車及び自転車等の誘導、整理）を行うこと。人員は、円滑に業務が遂行できるよう適切な人数を配置すること。

(2) 駐車場等の維持管理業務に関すること

ア 駐車場等の適正な維持管理を行うため、施設・設備点検等の日常点検、保守管理及び簡易修繕、清掃、樹木及び植栽管理等を実施すること。実施後は速やかに市へ報告すること。

(ア) 袋井駅前駐車場

① 警備業務

警備基準時間は、毎日24時間とする。

<業務内容>

- ☐ 盗難及び特定設備（駐車場自動出入管理設備）の異常事態の感知
- ☐ 事故確知時における関係先への通報・連絡
- ☐ 警備実施事項の報告
- ☐ 駐車場自動出入管理設備の障害対応業務

② 消防用施設等の点検業務

<業務内容>

- ☐ 年2回の消防設備点検（機器点検1回、総合点検1回）

③ 管制装置保守業務

<業務内容>

- ☐ 定期点検 3カ月に1回

※ 定期メンテナンスについては、その機器の製造・販売会社が指定する者による技術員が点検業務を実施すること。

④ 駐車場等の樹木の管理

年1回以上、必要に応じて行う

<業務内容>

- ☐ 剪定、刈込み、薬剤散布、施肥、除草作業等

(イ) 愛野駅前北駐車場

① 警備業務

警備基準時間は、毎日24時間とする。

<業務内容>

- ☐ 盗難及び特定設備（駐車場自動出入管理設備）の異常事態の感知
- ☐ 事故確知時における関係先への通報・連絡
- ☐ 警備実施事項の報告
- ☐ 駐車場自動出入管理設備の障害対応業務

② 管制装置保守業務

<業務内容>

- ☐ 定期点検 3カ月に1回

※ 定期メンテナンスについては、その機器の製造・販売会社が指定する業者による技術員が点検業務を実施すること。

③ 駐車場等の樹木の管理

- ☐ 年1回以上、必要に応じて行う

<業務内容>

- ☐ 剪定、刈込み、薬剤散布、施肥、除草作業等

イ 良好な環境衛生、美観の維持はもとより、施設の健全なる保全を図ること。

また、適切な方法により、ごみ・汚れ・シミ等进行处理し、清潔な状態に保つこと。

(ア) 敷地内清掃

(イ) 害虫等の駆除

ウ 施設・設備点検

駐車場等の機能を維持し、利用者が快適に利用できる良質な施設・設備を提供するため、保守点検を実施するとともに、状態について常に巡視点検を行い、必要に応じて整備をすること。

(ア) 施設内の警備業務

(イ) 施設内の見回り点検

(ウ) 照明の点検

(エ) 用具及び付帯設備、備品の点検

(オ) 清掃及び整理整頓

エ 放置自転車の処分

放置自転車は、袋井市自転車等駐車場条例及び同施行規則等に基づいて措置する。30日以上の間、駐車場内等に放置されている自転車等を処分するものとし、該当自転車等があった場合、指定管理者は、放置自転車調査表により市へ報告すること。

その後、市からの指示に基づき処分すること。処理費は指定管理者の負担とする。

オ 施設内の機能・美観を維持するため、植栽の管理、消毒、除草等の業務を行うこと。

カ 修繕

施設の修繕は、指定管理者が行うこととする。ただし、1件あたり30万円（消費税込）を超える修繕にあっては、市において行う。修繕の執行については速やかに実施し、施設の美観・機能の保全に努め、利用者の要望・便宜を図ることとする。

なお、詳細事項は協定書で定める。大規模修繕等で施設が長期に使用できない場合については、市と協議し、その場合の使用予定や広報活動に対応すること。

キ 施設維持管理用消耗品（電球、作業服等）、事務用消耗品（事務用品、応急処置用医薬品等）、清掃用消耗品（洗剤、清掃用具等）の購入に関すること。

ク 光熱水費（電気料、上下水道料）を支払うこと。

ケ 通信運搬費（電話料、郵便料等）を支払うこと。

コ 指定管理者の業務上の瑕疵により生ずる損害賠償に対応するため、適切な保険に加入すること。

【参考】

直営時、市が支出した維持管理費用（平成18年度実績）

[単位：千円]

項 目	内 容	袋井駅前	愛野駅前	公共トイレ
事務費	消耗品費、通信運搬費	1,656	292	82
管理費	電気、上下水道、修繕料、手数料（障害対応、放置自転車処分、草取り等）、夜間金庫他使用料	2,654	4,979	398

項 目	内 容	袋井駅前	愛野駅前	公共トイレ
委託費	全自動駐車場管制システム保守、管理業務委託、消防設備保守	12,136	7,489	805
借上げ料	全自動駐車場管制システム借上、監視カメラ、定期券自動発売装置一時利用券自動発売装置	6,276	-	-
小 計		22,722	12,760	1,285
総 計		36,767		

(3) 使用料の徴収に関すること

袋井市駐車場条例及び袋井市自転車等駐車場条例により徴収する。

なお、使用料は市の収入とする。

また、精算機等のつり銭などは、指定管理者が準備し、常時対応すること。

ア 袋井駅前駐車場及び愛野駅前北駐車場の駐車料金及び回数駐車券の発行に関する
こと。

(ア) 料金は、駐車場の利用者から自動車を出場させる時に徴収すること。

(イ) 利用者の利便を図るため回数駐車券を発行すること。

発行は、管理人室で行い、発売時間は、午前6時から午後8時30分までとする。

(ウ) 愛野駅前北駐車場の定期利用残り台数を表示するとともに、電話等による問合せに対応すること。

(エ) 愛野駅前北駐車場においては、身体障がい者割引を実施すること。

イ 袋井駅東自転車等駐車場、袋井駅西自転車等駐車場及び袋井駅南自転車等駐車場の
当日及び定期駐車券の発行に関すること。

(ア) 受付・申請等は、管理人室で行うこと。（電話による受付は不可）

なお、受付・申請の方法を変更する場合は市と協議すること。

(イ) 定期券の申し込み時間は、午前6時から午後8時30分までとする。

(ウ) 定期券を月の途中で購入する利用者には、有効期限及び料金を説明すること。

(エ) 定期駐車券の発行については、駐車場の利用状況により発行を中止し、又は制限すること。

また、駐車場の利用状況により駐車場所等の形状を変更する必要がある場合は、市と協議すること。

(オ) 料金は、自転車等を入場させる時に徴収する。ただし、定期駐車券の料金については、これを交付する時に徴収すること。

ウ 使用料の収受に関すること。

使用料は現金納付とし、指定管理者が現金の管理を行うこと。

エ 駐車場回数駐車券及び駐輪場定期駐車券の払い戻しに関すること。

指定管理者が現金で払い戻しすることとし、払い戻し分は市へ納付する使用料から差し引くこととする。

(4) その他

ア 業務報告等

(ア) 組織図

管理業務を遂行するための人員配置、管理責任者、資格を有する者、連絡先等を記載した組織図を作成し市に提出する。改正した場合も同様とする。

(イ) 利用要領

駐車使用料の徴収方法その他利用に関する業務を適正かつ円滑に遂行するために必要な事項を記載した利用要領（マニュアル）を作成し、その写しを市へ提出する。改正した場合も同様とする。

(ウ) 緊急時対応要領

災害、利用者の事故その他緊急時に対応するための緊急時対応要領（マニュアル）を作成し、その写しを市へ提出する。改正した場合も同様とする。

(エ) 業務日報

利用の実績、維持管理の状況、拾得物の保管、利用者からの苦情、要望等について、毎日、業務日報を作成する。

(オ) 徴収簿

毎日、駐車使用料の徴収額を徴収簿に記録する。使用料は駐車場ごとに一時利用、定期利用を区分すること。また、台数も同様に記録する。

(カ) 月例報告書

毎月、利用状況及び業務日報に基づいて業務報告書・モニタリングマニュアル等（利用者の意見、要望等及び対応策を含む）を作成し、市に報告すること。

(キ) 修繕等の報告

施設修繕等施設管理に係る業務を実施した場合は、業務書を作成し、市へ報告すること。

(ク) 事業報告書

毎年度終了後、事業報告書を作成し、翌年度5月末日までに市へ提出する。

事業報告書には、次の事項を記載する。

- ① 管理業務の実施状況
- ② 施設の利用状況
- ③ 使用料の収入実績
- ④ 管理運営経費の収支状況
- ⑤ その他

(ケ) 事業評価

市は、提出された事業報告書・モニタリングマニュアル等に基づき事業評価を実施する。評価項目は協定書において定めることとする。

(コ) 是正勧告に対する業務改善報告

事業評価の結果、指定管理者の業務が基準を満たしていないと判断した場合、市から指定管理者に対して行われた是正勧告に対する業務改善報告書を速やかに提出すること。

(サ) 予算書、事業計画書

毎年度末日までに、翌年度の管理業務に係る予算書、事業計画書を作成し、市へ提出する。

(シ) 保管文書

指定管理者は、駐車場等の利用状況及び管理運営業務の実施状況等を記載した業務日報を作成し、市が指定する期間保管し、求めがあった場合は提出すること。

(ス) 管理業務の再委託

維持管理に関する業務の一部を再委託する場合は、市の承諾を得ること。

また、再委託の契約後、業務名、再委託先及び契約内容（損害賠償に関する定めを含む）を市へ報告すること。

(セ) 領収印の印影

領収印を作成し、又は改刻したときは、その印影を市へ報告すること。

(ソ) その他の報告

駐車場で事故が発生したとき、施設の全部又は一部の利用ができなくなったとき、施設・設備を損傷し、又は滅失したとき、その他管理業務に支障を及ぼす事態が発生したときは、速やかに市へ報告すること。

(タ) 市は、駐車場等の適正を期するため、上記報告書等のほか、管理業務の遂行に係る書類、物品等について報告を求め、実地に調査し又は必要な指示をするものとする。

イ 指定管理業務の継続が困難になった場合における措置に関する事項

(ア) 指定管理者は、指定管理業務の継続が困難になった場合又はその恐れが生じた場合には、速やかに市へ報告すること。

(イ) 指定管理者の責に帰すべき事由により適正な施設管理が困難となった場合又はその恐れがあると認められる場合は、市は指定管理者に対して是正勧告を行い、期間を定めて改善策の提出及び実施を求めるものとする。

(ウ) 指定の取消し等

市は、指定管理者が指示に従わないとき、その他の指定管理者の責めに帰すべき事由により指定管理者が管理を継続できないと認めるときは、その指定を取消し又は期間を定めて管理業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。その場合、指定管理者に損害が生じて、市はその賠償責任を負わないが、指定管理者の取消し等により、市が損害を被った場合には、指定管理者に損害賠償請求をすることがある。

(エ) 原状回復

指定管理者は、指定期間が満了したとき又は指定の取消しや業務停止を受けたときは、施設・設備の原状回復を速やかに行うこととする。ただし、市長の承認を受けた場合はこの限りではない。

ウ 市、公共機関等との連絡調整業務

(ア) 市、公共機関等と協調を図り、利用促進活動に努めること。

(イ) 市、公共機関等からの依頼等には誠意を持って対応するとともに、適宜情報発信を行うこと。

エ ホームページ等により駐車場等に関する情報の提供を行うこと。

オ 駐車場等の管理運営に必要な印刷物（利用案内等）を作成すること。

カ 近隣地域への対応にあたっては、地域社会の一員であることを認識し、誠意をも

って対応し、地域振興に資する活動等に努めること。

キ 個人情報保護について従事者に周知・徹底を図ること。

ク 遺失物、拾得物の受付及び処理については、袋井警察署へ連絡し対応すること。

ケ その他駐車場等の管理上、必要があると認める業務を行うこと。

(5) 行政財産目的外使用許可について

行政財産目的外使用許可に関する業務については、指定管理業務には含まない。

6 指定管理者が賠償責任を負う範囲

- (1) 指定管理者は、駐車場等の管理運営業務を履行するにあたり、指定管理者の責めに帰すべき事由により市又は第三者に損害を与えた場合、又は指定管理者の責めに帰すべき事由により委託業務が継続出来なくなった場合は、損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別な事情があると認めた場合は、この限りではない。
- (2) 管理上の瑕疵により、臨時に駐車場等を閉鎖する場合の収入源のリスクは、指定管理者が負わなければならない。
- (3) 天災等の不可抗力により、駐車場を閉鎖することとなった場合の収入源に対する補償については、閉鎖の期間を考慮し、指定管理委託料との相殺も含め、市と協議して決定する。

7 物品の帰属等

- (1) 現に施設に配備している市所有の備品等については、無償貸与する。
- (2) 指定管理者は、市の所有に属する物品については、袋井市市有財産規則（平成31年袋井市規則第6号）、袋井市公の施設に関する規則（平成31年袋井市規則第7号）及び関係例規に規定する管理方法及び分類等に基づいて管理を行うものとする。また、指定管理者は、同規則に定められた備品台帳を備え、保管に係る物品を整理し、購入及び廃棄等の移動については遅滞なく市に報告しなければならない。
- (3) 指定管理者が行なった修繕により、結果として資産を取得することとなる場合は、その資産は、市の所有に属するものとする。
- (4) 指定管理者が、施設の管理運営のために備品等を購入する場合は、あらかじめ市と協議すること。

8 備品等

指定管理者は、業務において使用する市の所有に属する物品のうち、備品等については、袋井市財務規則に基づく管理を行うこととする。

9 業務を実施するに当たっての注意事項

指定管理者は、次の各項目に留意して円滑に業務を実施すること。

- (1) 指定管理者が施設の管理運営に係る各種規程・要領等を別に定める場合は、市と協議を行うこと。
- (2) 各種規程等がない場合は、市の諸規程に準じて業務を実施すること。
- (3) その他、本書に記載のない事項については、市と協議を行うこと。

10 モニタリング及び利用者アンケート

指定管理者は、利用者の利便性の向上等の観点から、モニタリングや利用者アンケートにより、施設利用者の意見・要望等を聴取し、その結果及び業務改善への反映状況を市へ報告すること。また、市が行うアンケート等にも協力すること。

11 その他

(1) 施設リース機器等の取扱いについて

ア 現在使用しているすべての自動券売機等機器は、平成3年4月1日からの指定管理者が再リースしているため、令和8年3月31日に契約期間が終了する。

したがって、令和8年4月1日からの5年間については、指定管理者による新たな機器の購入若しくは借り上げをするものとする。

自動券売機等機器については、駐車場業務の目的等を十分把握するとともに、円滑な駐車場業務を遂行するため、現在のリース機器の仕様水準以上の機器を設置することとする。

なお、自動券売機等機器の中には、監視カメラシステムと満車表示灯も含まれる。

※ 機器の仕様書について、次のように一部内容の修正と方針を変更する。

(ア) 精算機（袋井駅前駐車場、愛野駅北駐車場の全自動料金精算機）の仕様書の中で、「二千元紙幣」の記載があるが、二千元紙幣以上での精算については必須条件とはしない。

イ 機器の選定・設置にあたって、売上金の盗難防止に対応したガードボックス等を設置すること。

ウ 新たに機器の設置をする場合、期間、方法、スケジュール等については、別紙7により提出すること。

(2) 指定管理者が行う業務の引継ぎについて

指定管理者は、指定期間終了時に次期指定管理者が円滑かつ支障なく駐車場等の業務を遂行できるよう業務の引き継ぎを行うこと。

なお、業務引継ぎ及び準備のための経費については選定された指定管理者の負担とする。

(3) 立入検査について

市は、必要に応じて労務管理、施設、物品、各種帳簿等の検査のため立入調査を行う。指摘事項等には誠意を持って対応し、改善・提案を速やかに実施すること。

機器仕様書

袋井駅前駐車場

機器仕様書

全自動料金精算機 (AP)

1. 概要

- 1.1) 駐車場出口に設置し利用者に対し駐車料金の精算を行います。車路に設置された光電感知器が車両を感知して精算が可能な状態になります。
- 1.2) 精算時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送を行います。
- 1.3) 駐車券投入口に駐車券を差し込むと表示と音声で駐車料金をお知らせします。支払いは硬貨又は千円・二千円紙幣で精算できます。その他サービス券、プリペイドカードでの精算も可能です。
- 1.4) 定期券読取りによる定期車両の出場管理が可能です。
- 1.5) 出庫完了までに該当釦を押すことにより領収証を発行することができます。
- 1.6) カーゲートと連動し、駐車場出口の無人制御を行います。
- 1.7) 精算記録及び集計記録はジャーナルプリンターに記録されます。(オプション)
- 1.8) 金銭管理機能により案内表示器に現在の金種毎の保有枚数が表示できます。また、扉を開けずにつり銭の補充ができます。
- 1.9) 自動、手動、半自動、精算無し精算が可能です。

2. 定格

- | | |
|--------------|--|
| 2.1) 電 源 | AC100V±10% 50/60Hz (D種接地) |
| 2.2) 消 費 電 力 | 定格 : 348W |
| 2.3) 質 量 | 約 274kg |
| 2.4) 塗 装 色 | 日塗工 F19-75X 近似色 (黄色) |
| 2.5) 材 質 | 外装ケース : 2.0mm 鋼板製
ベ ー ス : 6.0mm 鋼板製 |
| 2.6) 形 状 | 自立型 防雨構造 |
| 2.7) 時 計 方 式 | 水晶発振方式 週差±3 秒以内 (25℃±5℃)
停電補償 : 内蔵バッテリーで累計 3 年間 |
| 2.8) 使用周囲温湿度 | -10℃～+40℃ 10%～90%RH (結露なき事) |
| 2.9) 据 付 | 4×M12 のアンカーボルトにより底面を固定 |

3. 仕様

- | | |
|----------------|--|
| 3.1) カード読取方式 | 磁気ストライプ読取方式
長手 4 方向読取 (表・裏・前・後)
但しプリペイドカードは 2 方向
エンボスカード対応可能 (読取方向は 1 方向) |
| 3.2) 案 内 表 示 | 『料金表示 (駐車料金、投入金額、残金額、釣り額) 時計表示
・操作手順 等』
LED バックライト付 12.1 インチ透過型 TFT カラー液晶表示器
とりけし、駐車券紛失、領収証発行 |
| 3.3) 操 作 ボ タ ン | |
| 3.4) 演 算 機 能 | |
| 3.4.1) 計 算 日 数 | 12 ヶ月 |
| 3.4.2) 計算単位時間 | 1 分単位 最大 9 時間 59 分 |
| 3.4.3) 計算単位料金 | 10 円単位 最大 999990 円 |
| 3.4.4) 車 種 区 分 | 12 種 |
| 3.4.5) 料 金 体 系 | 3 体系 |
| 3.4.6) 料金帯区分 | 昼夜帯方式 : 最大 6 区分 |

全自動料金精算機 (A P)

- 運減帯方式：最大 12 パターン
- 3.4.7) サービスタイム 0～720 分 1 分単位
- 3.4.8) グレースタイム 0～120 分 1 分単位 (おまけ時間)
- 3.4.9) ラグタイム 0～120 分 1 分単位 (事前精算システム時使用)
- 3.4.10) 最大料金の設定 6・12・24 時間最大または時刻指定毎最大の二者択一と絶対最大
※最大料金の設定は 10 円単位で設定
- 3.4.11) 駐車券紛失料金 固定料金または指定時刻料金計算の二者択一
固定料金：10 円単位 999990 円まで任意に設定可能
指定時刻料金計算：車種 (12 種) を指定可能
- 3.5) 領収証発行 出庫完了までに領収証釦を押すと発行
印字方式：サーマルプリンター
1 ロール発行回数：約 800 回
(標準印字内容の場合。(ロゴ印字有、ヘッダー印字無し))
領収証上部にビットマップ画像のロゴ印字が可能
ヘッダー印字 4 行、フッター印字 4 行まで可能
再発行可能 (係員操作による)
- 3.6) 精算中止 料金投入の途中でとりけし釦を押すと投入金額を返却
(サービス券等を投入している場合は、駐車券に割引内容を記録して駐車券のみ返却)
- 3.7) 使用貨幣 10・50・100・500 円硬貨及び千・二千元紙幣
- 3.8) 釣銭装置
- 3.8.1) コインメック 10 円 (約 90 枚)、50 円 (約 78 枚)、
100 円 (約 77 枚)、500 円 (約 68 枚)
- 3.8.2) 手動補給筒 10 円 (約 100 枚) / 100 円 (約 88 枚) の二者択一
- 3.8.3) 予蓄ホッパー 10 円 (約 480 枚) / 50 円 (約 510 枚) / 100 円 (約 490 枚) /
500 円 (約 330 枚) の二金種または同一金種×2 を選択可能
- 3.9) 金庫収納方式 硬貨：鍵付き金庫
約 2000 枚 (すべて 100 円硬貨の場合)
紙幣：鍵付き金庫に整列収納
約 600 枚 (官封券換算)
- 3.10) 廃券枚数 約 3000 枚
- 3.11) 営業記録 金庫抜取り (金庫合計)、管理カード使用・その他キー操作により任意に領収証用紙に印字・発行
- 3.12) 集計項目
- 3.12.1) 売上集計
総現金売上額、総掛売額、総売上額、総精算回数、総出庫回数 (印字のみ)、
紛失精算回数、紛失精算現金売上額、料金種別毎精算回数・現金領収額、種別
時間割引回数・金額、プリペイドカード (回数券) 使用回数・金額、サービス
券種別毎精算回数・金額、店 No 毎割引回数・金額、定期種別毎使用回数、領収
証発行回数、サービスタイム内精算回数、ラグタイム内出庫台数、強制アンチ
パス OFF 精算回数、手動精算回数、支払不足回数・金額、金庫総入金額、紙幣
金庫入金額、コイン金庫入金額、金銭データ、精算中止回数・精算中止現金売
上額、釣銭払戻額、預り証発行回数、等を設定により任意選択
上記集計の T、G T、M T の各小計、合計、前回 T、前回 G T、前回 M T
- 3.12.2) 駐車分類集計 (下記 10 種より 1 種選択)

全自動料金精算機 (A P)

- ①駐車時間別台数集計 (48 分類)
- ②駐車時間別台数、料金集計 (48 分類)
- ③駐車料金別台数集計 (48 分類)
- ④駐車料金別台数、料金集計 (48 分類)
- ⑤入車時刻別精算台数集計 (48 分類)
- ⑥精算時刻別精算台数集計 (48 分類)
- ⑦入車、精算時刻別精算台数集計 (48 分類)
- ⑧出庫時刻別精算台数集計 (48 分類)
- ⑨入庫、出庫時刻別精算台数集計 (48 分類)
- ⑩精算時刻別精算台数・料金集計 (48 分類)
- (①～⑩の 48 分類と⑤～⑩の 24 分類の同時集計可能)

- 3.13) 定 期 券 P E T材 (アマノバイナリーカード)
54 mm (巾) × 85.7 mm (長) / 1 枚
基本・拡張 1～3 を合わせて 12000 件登録可能 (種別 15 種分類可能)
- 3.14) プリペイドカード 設定金額 10～61000 円 (使用毎に残り金額を書換えて返却)
使用度数 (7 段階) をマークプリント
※回数券との併用運用は不可
- 3.15) 回 数 券 1 度数設定金額 10～9990 円または無料
1 枚で 11 度数使用可能 (使用毎に残り度数を書換えて返却)
使用度数 (11 段階) をマークプリント
※プリペイドカードとの併用運用は不可
- 3.16) サ ー ビ ス 券 15 種 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切換)
- 3.17) 掛 売 券 店No.1～100 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切換)
- 3.18) 駐車券掛売処理
- 3.18.1) 割引ライター (AR100)
店No.1～62 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切換)
※割引内容と分類は掛売券と共通
- 3.18.2) 割引ライター (AR150, AR200, AR300)
店No.1～255 (時間割引、全額割引、料金割引、車種切替) 割引
種別 7 種類まで可能
※掛売券との併用運用は不可
- 3.19) 割 引 内 容
- 3.19.1) 時間割引 0～99 時間 59 分 (1 分単位)
- 3.19.2) 料金割引 0～9990 円 (10 円単位)
- 3.19.3) 車種切換 12 種
- 3.20) 外部出力信号 8 出力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
ゲート開・ゲート閉 (カーゲート連動時には必須)
精算完了、釣銭切れ・予告、レシート切れ・予告、トラブル、
ドア警報 (該当キーを解除せずに左扉を開いた場合に出力)、
金庫満杯、満車、他
- 3.21) 外部入力信号 3 入力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
ゲート閉状態 (カーゲート連動時には必須)、ゲートバー折れ、
車種切換、強制休業、強制営業、外部ゲート開、外部ゲート閉、

全自動料金精算機 (A P)

3.22) 管 理 カ ー ド

ゲート開放、他

小計カード、補充カード、自動棚卸カード、係員カード、
管理者カード

3.23) そ の 他

- ・ 手順案内音声装置内蔵 (時間帯自動音量調整可能)
- ・ 特別日 (年間 31 日) と特別期間 (年間 3 期間) が設定可能
(特別期間は特別日より優先)
- ・ ハッピーマンデー、春分・秋分の日対応
- ・ インベントリー払出先 (金庫/つり銭取出し口) が選択可能
- ・ 駐車券を領収証として発行可能
- ・ 係員スイッチを配置
(エラー表示、券データ表示、状態プリント)
- ・ 案内表示バックライトは時間帯自動輝度調整可能
- ・ 拡張外部入力 (4 点) 出力 (8 点) 機能 (オプション)
- ・ 硬貨 (5 枚程度) 纏め入れ対応
- ・ ガンロック付
- ・ パークアイプロ仕様

袋井駅前駐車場

機器仕様書

駐車券発行機 (TD)

1. 概要

- 1.1) 駐車場入口に設置し利用者に対し駐車券を発行します。車路に設置された光電感知器が車両を検知した状態で、押ボタン操作により駐車券が発行されます。
- 1.2) 駐車券発行時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送（満車時は満車案内放送）を行います。また案内放送は駐車券抜き取り又は設定回数終了後に自動的に停止します。
- 1.3) 駐車券は磁気ストライプ紙を使用し、機械番号・入場番号・料金種別・入場年月日時分が印字されます。
- 1.4) 定期券読取りによる定期車両の入場管理が可能です。発券方法は押ボタン操作とし、ボタン操作する前に駐車券発行口で定期券を読取らせます。
- 1.5) カーゲートと連動し、駐車場入口の無人制御を行います。
- 1.6) 駐車券発行後、券を抜き取らずに車両が後退した場合は発行された駐車券を本体内に取込みます。（廃券処理）

2. 定格

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 2.1) 電 源 | AC100V±10% 50/60Hz (D種接地) |
| 2.2) 消 費 電 力 | 定格：34W |
| 2.3) 質 量 | 約 85kg |
| 2.4) 塗 装 色 | 日塗工 F19-75X 近似色 (黄色) |
| 2.5) 材 質 | 外装ケース：2.0mm鋼板製
ベ ー ス：6.0mm山形鋼製 |
| 2.6) 形 状 | 自立型 防雨構造 |
| 2.7) 時 計 方 式 | 水晶発振方式 週差±3秒以内 (20℃～30℃以内) |
| 2.8) メモリーバックアップ | 時計・入場番号・設定内容に対し累計3年間 |
| 2.9) 使用周囲温湿度 | -10℃～+40℃ 10%～90%RH (結露なき事) |
| 2.10) 据 付 | 4-M12 のアンカーボルトにより底面を固定 |

3. 仕様

- | | |
|--------------|--|
| 3.1) 発 券 方 法 | 自動又は押ボタン
(設定により二者択一。但し、定期券を使用する場合は押ボタンのみ) |
| 3.2) 駐 車 券 | ファンホールド式磁気ストライプ紙
54mm (巾) × 85.7mm (長) / 1枚
7000枚 (3500枚×2パック) 収納可能 |
| 3.3) 定 期 券 | PET材 (アマノバイナリカード)
54mm (巾) × 85.7mm (長) / 1枚
基本・拡張1～3を合わせて12000件登録可能 (種別15種分類可能) |
| 3.4) 印 字 内 容 | 機械番号 (1～20)・入場番号 (5桁)・料金種別 (A～L)
入場年月日時分
機械番号、料金種別は設定で印字する／しないを選択可能 |
| 3.5) 印 字 機 構 | 9×7ドットマトリクスプリンター
インクリボンカセット方式 (リボン色は黒) |
| 3.6) 案 内 表 示 | 『時計表示・操作案内 等』 |

駐車券発行機 (TD)

3.7) 発行速度	バックライト付モノクロLCD表示器 1.3秒
3.8) 廃券処理	自動的に本体内部に収納 (収納枚数 約200枚)
3.9) 警報出力信号	無電圧接点 チケット切れ (2バックのどちらか無くなった場合に出力)
3.10) その他	手順案内音声装置内蔵

愛野駅前北駐車場

機器仕様書

全自動料金精算機 (A P)

1. 概要

- 1.1) 駐車場出口に設置し利用者に対し駐車料金の精算を行います。車路に埋設されたループコイルが車両を感知して精算が可能な状態になります。
- 1.2) 精算時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送を行います。
- 1.3) 駐車券投入口に駐車券を差し込むと表示と音声で駐車料金をお知らせします。支払いは硬貨又は千円・二千円紙幣で精算できます。その他サービス券、プリペイドカードでの精算も可能です。
- 1.4) 定期券読取りによる定期車両の出場管理が可能です。
- 1.5) 出庫完了までに該当釦を押すことにより領収証を発行することができます。
- 1.6) カーゲートと連動し、駐車場出口の無人制御を行います。
- 1.7) 精算記録及び集計記録はジャーナルプリンターに記録されます。(オプション)
- 1.8) 金銭管理機能により案内表示器に現在の金種毎の保有枚数が表示できます。また、扉を開けずにつり銭の補充ができます。
- 1.9) 自動、手動、半自動、精算無し精算が可能です。

2. 定格

- | | | |
|-----------|-----|---|
| 2.1) 電 | 源 | AC100V $\pm$ 10% 50/60Hz (D種接地) |
| 2.2) 消 費 | 電 力 | 定格：348W |
| 2.3) 質 | 量 | 約 274kg |
| 2.4) 塗 | 装 色 | 日塗工 F19-75X 近似色 (黄色) |
| 2.5) 材 | 質 | 外装ケース：2.0mm鋼板製
ベース：6.0mm鋼板製 |
| 2.6) 形 | 状 | 自立型 防雨構造 |
| 2.7) 時 計 | 方 式 | 水晶発振方式 週差 $\pm$ 3秒以内 (25 $^{\circ}$ C $\pm$ 5 $^{\circ}$ C)
停電補償：内蔵バッテリーで累計3年間 |
| 2.8) 使用周囲 | 温湿度 | -10 $^{\circ}$ C $\sim$ +40 $^{\circ}$ C 10% $\sim$ 90%RH (結露なき事) |
| 2.9) 据 | 付 | 4 $\times$ M12のアンカーボルトにより底面を固定 |

3. 仕様

- | | |
|----------------|--|
| 3.1) カード読取方式 | 磁気ストライプ読取方式
長手4方向読取 (表・裏・前・後)
但しプリペイドカードは2方向
エンボスカード対応可能 (読取方向は1方向) |
| 3.2) 案 内 表 示 | 『料金表示 (駐車料金、投入金額、残金額、釣り額) 時計表示
・操作手順 等』
LED バックライト付 12.1 インチ透過型 TFT カラー液晶表示器
とりけし、駐車券紛失、領収証発行 |
| 3.3) 操 作 ボ タ ン | |
| 3.4) 演 算 機 能 | |
| 3.4.1) 計 算 日 数 | 12ヶ月 |
| 3.4.2) 計算単位時間 | 1分単位 最大9時間59分 |
| 3.4.3) 計算単位料金 | 10円単位 最大999990円 |
| 3.4.4) 車 種 区 分 | 12種 |
| 3.4.5) 料 金 体 系 | 3体系 |
| 3.4.6) 料金帯区分 | 昼夜帯方式：最大6区分 |

全自動料金精算機 (A P)

- 通減帯方式：最大 12 パターン
- 3.4.7) サービスタイム 0～720 分 1 分単位
- 3.4.8) グレースタイム 0～120 分 1 分単位 (おまけ時間)
- 3.4.9) ラグタイム 0～120 分 1 分単位 (事前精算システム時使用)
- 3.4.10) 最大料金の設定 6・12・24 時間最大または時刻指定毎最大の二者択一と絶対最大
※最大料金の設定は 10 円単位で設定
- 3.4.11) 駐車券紛失料金 固定料金または指定時刻料金計算の二者択一
固定料金：10 円単位 999990 円まで任意に設定可能
指定時刻料金計算：車種 (12 種) を指定可能
- 3.5) 領収証発行 出庫完了までに領収証釦を押すと発行
印字方式：サーマルプリンター
1 ロール発行回数：約 800 回
(標準印字内容の場合。(ロゴ印字有、ヘッダー印字無し))
領収証上部にビットマップ画像のロゴ印字が可能
ヘッダー印字 4 行、フッター印字 4 行まで可能
再発行可能 (係員操作による)
- 3.6) 精算中止 料金投入の途中でとりけし釦を押すと投入金額を返却
(サービス券等を投入している場合は、駐車券に割引内容を記録して駐車券のみ返却)
- 3.7) 使用貨幣 10・50・100・500 円硬貨及び千・二千元紙幣
- 3.8) 釣銭装置
- 3.8.1) コインメック 10 円 (約 90 枚)、50 円 (約 78 枚)、
100 円 (約 77 枚)、500 円 (約 68 枚)
- 3.8.2) 手動補給筒 10 円 (約 100 枚) / 100 円 (約 88 枚) の二者択一
- 3.8.3) 予蓄ホッパー 10 円 (約 480 枚) / 50 円 (約 510 枚) / 100 円 (約 490 枚) /
500 円 (約 330 枚) の二金種または同一金種×2 を選択可能
- 3.9) 金庫収納方式 硬貨：鍵付き金庫
約 2000 枚 (すべて 100 円硬貨の場合)
紙幣：鍵付き金庫に整列収納
約 600 枚 (官封券換算)
- 3.10) 廃券枚数 約 3000 枚
- 3.11) 営業記録 金庫抜取り (金庫合計)、管理カード使用・その他キー操作により任意に領収証用紙に印字・発行
- 3.12) 集計項目
- 3.12.1) 売上集計 総現金売上額、総掛売額、総売上額、総精算回数、総出庫回数 (印字のみ)、
紛失精算回数、紛失精算現金売上額、料金種別毎精算回数・現金領収額、種別
時間割引回数・金額、プリペイドカード (回数券) 使用回数・金額、サービス
券種別毎精算回数・金額、店№毎割引回数・金額、定期種別毎使用回数、領収
証発行回数、サービスタイム内精算回数、ラグタイム内出庫台数、強制アンチ
パス OFF 精算回数、手動精算回数、支払不足回数・金額、金庫総入金額、紙幣
金庫入金額、コイン金庫入金額、金銭データ、精算中止回数・精算中止現金売
上額、釣銭払戻額、預り証発行回数、等を設定により任意選択
上記集計の T、G T、M T の各小計、合計、前回 T、前回 G T、前回 M T
- 3.12.2) 駐車分類集計 (下記 10 種より 1 種選択)

全自動料金精算機 (A P)

- ①駐車時間別台数集計 (48 分類)
 ②駐車時間別台数、料金集計 (48 分類)
 ③駐車料金別台数集計 (48 分類)
 ④駐車料金別台数、料金集計 (48 分類)
 ⑤入車時刻別精算台数集計 (48 分類)
 ⑥精算時刻別精算台数集計 (48 分類)
 ⑦入車、精算時刻別精算台数集計 (48 分類)
 ⑧出庫時刻別精算台数集計 (48 分類)
 ⑨入庫、出庫時刻別精算台数集計 (48 分類)
 ⑩精算時刻別精算台数・料金集計 (48 分類)
 (①～⑩の 48 分類と⑤～⑩の 24 分類の同時集計可能)
- 3.13) 定期券 PET材 (アマノパイナリーカード)
 54mm (巾) × 85.7mm (長) / 1 枚
 基本・拡張 1～3 を合わせて 12000 件登録可能 (種別 15 種分類可能)
- 3.14) プリペイドカード 設定金額 10～61000 円 (使用毎に残り金額を書換えて返却)
 使用度数 (7 段階) をマークプリント
 ※回数券との併用運用は不可
- 3.15) 回数券 1 度数設定金額 10～9990 円または無料
 1 枚で 11 度数使用可能 (使用毎に残り度数を書換えて返却)
 使用度数 (11 段階) をマークプリント
 ※プリペイドカードとの併用運用は不可
- 3.16) サービス券 15 種 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切換)
 3.17) 掛売券 店№.1～100 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切換)
 3.18) 駐車券掛売処理
- 3.18.1) 割引ライター (AR100)
 店№.1～62 (時間割引、料金割引、全額割引、車種切換)
 ※割引内容と分類は掛売券と共通
- 3.18.2) 割引ライター (AR150, AR200, AR300)
 店№.1～255 (時間割引、全額割引、料金割引、車種切替) 割引
 種別 7 種類まで可能
 ※掛売券との併用運用は不可
- 3.19) 割引内容
- 3.19.1) 時間割引 0～99 時間 59 分 (1 分単位)
 3.19.2) 料金割引 0～9990 円 (10 円単位)
 3.19.3) 車種切換 12 種
- 3.20) 外部出力信号 8 出力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
 ゲート開・ゲート閉 (カーゲート連動時には必須)
 精算完了、釣銭切れ・予告、レシート切れ・予告、トラブル、
 ドア警報 (該当キーを解除せずに左扉を開いた場合に出力)、
 金庫満杯、満車、他
- 3.21) 外部入力信号 3 入力 (無電圧接点) 以下の信号より任意選択可能
 ゲート閉状態 (カーゲート連動時には必須)、ゲートバー折れ、
 車種切換、強制休業、強制営業、外部ゲート開、外部ゲート閉、

全自動料金精算機 (A P)

3.22) 管 理 カ ー ド

ゲート開放、他

小計カード、補充カード、自動棚卸カード、係員カード、
管理者カード

3.23) そ の 他

- ・ 手順案内音声装置内蔵 (時間帯自動音量調整可能)
- ・ 特別日 (年間 31 日) と特別期間 (年間 3 期間) が設定可能
(特別期間は特別日より優先)
- ・ ハッピーマンデー、春分・秋分の日対応
- ・ インベントリー払出先 (金庫／つり銭取出し口) が選択可能
- ・ 駐車券を領収証として発行可能
- ・ 係員スイッチを配置
(エラー表示、券データ表示、状態プリント)
- ・ 案内表示バックライトは時間帯自動輝度調整可能
- ・ 拡張外部入力 (4 点) 出力 (8 点) 機能 (オプション)
- ・ 硬貨 (5 枚程度) 纏め入れ対応
- ・ 防犯プロテクター付
- ・ パークアイプロ仕様

愛野駅前北駐車場

機器仕様書

駐車券発行機 (TD)

1. 概要

- 1.1) 駐車場入口に設置し利用者に対し駐車券を発行します。車路に埋設されたループコイルが車両を感知した状態で、押ボタン操作により駐車券が発行されます。
- 1.2) 駐車券発行時、内蔵された音声合成装置により操作を促す案内放送（満車時は満車案内放送）を行います。また案内放送は駐車券抜き取り又は設定回数終了後に自動的に停止します。
- 1.3) 駐車券は磁気ストライプ紙を使用し、機械番号・入場番号・料金種別・入場年月日時分が印字されます。
- 1.4) 定期券読取りによる定期車両の入場管理が可能です。発券方法は押ボタン操作とし、ボタン操作する前に駐車券発行口で定期券を読取らせます。
- 1.5) カーゲートと連動し、駐車場入口の無人制御を行います。
- 1.6) 駐車券発行後、券を抜き取らずに車両が後退した場合は発行された駐車券を本体内に取込みます。（廃券処理）

2. 定格

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 2.1) 電 源 | AC100V±10% 50/60Hz (D種接地) |
| 2.2) 消 費 電 力 | 定格：34W |
| 2.3) 質 量 | 約 85kg |
| 2.4) 塗 装 色 | 日塗工 F19-75X 近似色 (黄色) |
| 2.5) 材 質 | 外装ケース：2.0mm鋼板製
ベ ー ス：6.0mm山形鋼製 |
| 2.6) 形 状 | 自立型 防雨構造 |
| 2.7) 時 計 方 式 | 水晶発振方式 週差±3秒以内 (20℃～30℃以内) |
| 2.8) メモリーバックアップ | 時計・入場番号・設定内容に対し累計3年間 |
| 2.9) 使用周囲温湿度 | -10℃～+40℃ 10%～90%RH (結露なき事) |
| 2.10) 据 付 | 4-M12のアンカーボルトにより底面を固定 |

3. 仕様

- | | |
|--------------|--|
| 3.1) 発 券 方 法 | 自動又は押ボタン
(設定により二者択一。但し、定期券を使用する場合は押ボタンのみ) |
| 3.2) 駐 車 券 | ファンホールド式磁気ストライプ紙
54mm (巾) × 85.7mm (長) / 1枚
7000枚 (3500枚×2パック) 収納可能 |
| 3.3) 定 期 券 | PET材 (アマノパイナリカード)
54mm (巾) × 85.7mm (長) / 1枚
基本・拡張1～3を合わせて12000件登録可能 (種別15種分類可能) |
| 3.4) 印 字 内 容 | 機械番号 (1～20)・入場番号 (5桁)・料金種別 (A～L)
入場年月日時分
機械番号、料金種別は設定で印字する／しないを選択可能 |
| 3.5) 印 字 機 構 | 9×7ドットマトリクスプリンター
インクリボンカセット方式 (リボン色は黒) |
| 3.6) 案 内 表 示 | 『時計表示・操作案内 等』 |

機器仕様書

駐車券発行機 (TD)

- | | |
|-------------|--|
| 3.7) 発行速度 | バックライト付モノクロLCD表示器
1.3秒 |
| 3.8) 廃券処理 | 自動的に本体内部に収納 (収納枚数 約 200 枚) |
| 3.9) 警報出力信号 | 無電圧接点
チケット切れ (2 パックのどちらか無くなった場合に出力) |
| 3.10) その他 | 手順案内音声装置内蔵 |

機器仕様書

駐輪場定期券販売装置

1. 概要

定期カードを挿入後、指定する口座（コラム）のボタンを選択し、紙幣及び硬貨を挿入または投入することにより、定期券シール（有効期限、車種、駐輪場名明記）を発行する定期更新機です。

2. 特徴

- (1) 音声ガイダンス機能を搭載しており容易に利用可能なこと。
- (2) システムに障害が発生した場合にも装置単体での運用が可能なこと。
- (3) 定期の有効期限が切れても定められた期間であれば更新することが出来ること。
- (4) 紙幣の一括投入が可能（20枚程度まで）なこと。
及び5,000円札還流、4金種ホッパーの為、釣銭の補充が簡易に出来ること。
- (5) 定期シールの発行をし、車両へ添付することにより係員が目視での確認が可能なこと。
- (6) LAN対応により売上情報などネットワークでの集計が可能なこと。
- (7) 1台の定期更新機で隣接する駐輪場の定期の販売をすることが出来ること。
- (8) 更新機の状態監視が可能であり、常に管理PCにて確認できること。

3. 仕様

(1) シール紙発行機能

① 印刷用紙

シールロール紙

長さ：50m（85mm券（紙間含む）で580枚相当）

カーボンリボン：黒 100m

シールエンド：検知有り

リボンエンド：検知有り

② 印刷方法

熱転写方式

③ 印刷内容

駐車位置、有効期限、価格、領収日、発行日

④ 発券速度

口座ボタン選択後 約1.5秒

⑤ 口座数

6口座（不要口座は、ダミーブロックによりふさぐ）

⑥ 印字可能文字種

英数字、ひらがな、カタカナ

記号（JIS 第一水準、第二水準漢字）

(2) 入出金機能

① 使用紙幣、硬貨

10,000円札、5,000円札、2,000円札、1,000円札

500円、100円、50円、10円硬貨

※紙幣一括投入が可能（20枚まで）

② 価格設定範囲

10円～89,990円（10円ステップ）

③ 最大投入額

89,990円 + 1金種

④ 釣り銭

5,000円札、1,000円札

500円硬貨、100円硬貨、50円硬貨、10円硬貨

（全て還流式）

⑤ 返却機能

5,000円札、1,000円札

500円硬貨、100円硬貨、50円硬貨、10円硬貨

（各金種の組合せによる返却）

⑥ 釣銭放出方法

5,000円札（各取引毎1枚のみ可能）及び1,000円札

硬貨 ホッパーかき出し方式

(3) ジャーナル機能

- ① ジャーナル機能 売上情報（各金種の投入、払い出し）を管理して集計出力
各管理情報は別に設置する管理PCにて集中管理を行い、帳票出力
管理情報出力機能を有する。
- ② 集計印字 グループ別集計、入出金情報の印字を行なう。

(4) 一般仕様

- ① 外形寸法 500(W)×1700(H)×600(D)mm 以下
- ② 質量 300Kg 以下
- ③ 電源 AC100V ±10% 50/60Hz ±1Hz
- ④ 消費電力 動作時：約200W以下、待機時：約100W以下

機器仕様書

一時利用券売機

1. 概要

本機は、紙幣及び硬貨の挿入または投入により、印刷式券／印刷済み券（ロール式）を発売する自動券売機である。

2. 特徴

- (1) 紙幣及び硬貨を挿入または投入し、指定する口座（コラム）のボタンを選択することにより、券を発売し必要に応じて釣銭を放出できること。
- (2) 取消しの場合は取消ボタンまたはおつりボタンの操作により、合計投入金額と同額を返却できること。
- (3) 口座数は最大100でフリーなレイアウトができること。
- (4) 券購入方式は単売または連売ができ、ユーザーエントリーキー（枚数は単独設定可能）によるまとめ買いができること。
- (5) 各口座ごとの発売枚数、売上金額、総売上金額の日計、累計をプリントアウトできること。
- (6) 発券する券の印刷内容、販売価格、販売時間、販売数量、セット券、回数券、集計様式などをPCで作成できること。（設定用ソフト「PCユーティリティ」使用）
付属のリモコン、係員キー、操作画面の組み合わせにより各種設定も出来ること。
- (7) 両替機能有りの設定時に、ユーザーエントリーキー「両替」の押下により挿入紙幣または投入硬貨を、設定されている両替モード、両替パターンに従い両替すること。
- (8) 釣銭ホッパー毎に硬貨増減管理を行い金銭扉の開閉後硬貨が100枚増加した場合は50枚自動回収を行い販売を継続すること。
- (9) 各メニュー毎に、セット券のメニューを最大5メニュー設定することが出来ること。

3. 仕様

(1) 入金機能

- | | |
|----------|---|
| ①使用貨幣・硬貨 | 2,000円札、1,000円札、
500円、100円、50円、10円硬貨 |
| ②最大投入額 | 8,990円 + 1金種 |
| ③釣り銭 | 500円硬貨、100円硬貨、50円硬貨、10円硬貨 |

(2) 操作部

カラーLCD表示器（接客表示部と兼用）
入力部 リモコン（赤外線方式）またはユーザーエントリーキー
文字入力方式 携帯電話入力方式（文字入力はリモコンからのみ可能）
目次画面

<係員モード>

客情報、集計印字、集計印字クリア、硬貨回収、金銭管理、売切設定、誤購入精算、再発券、売上確認、各種設定、端末情報設定、ロギング情報

<各種設定>

販売モード、メニュー登録、口座登録、日付時刻、発行者名、号機発券番号、集計様式、メニュー設定一覧印字、装置設定一覧印字、ユーザーエントリーキー、口座レイアウト、口座まとめ買い、集計時間帯、曜日管理、カレンダー設定、多重価格名称、入金出金項目名称、オプション設定、一括発券、回数券設定、回数券セット券名称、印刷済みロール、領収書、変造硬貨対策、外字登録、時間帯別グループ集計

<調整機能>

液晶コントラスト
ブザー（ピッ音） キー押下確認音

ブザー（アラーム音） 券切れ、券づまり、貨幣づまり、釣銭払出ミス、呼出ボタン、紙幣満杯

(3) 一般仕様

- ① 外形寸法 650(W)×1600(H)×300(D)mm (突起物含まず)
- ② 質量 105Kg
- ③ 電源 AC100V ±10% 50/60Hz ±1Hz
- ④ 消費電力 動作時：約111W、待機時：約53W